

国際シンポジウム

戦争と医の倫理

—ドイツと日本の検証史の比較—

International Symposium "War and Medical Ethics"
— Comparison of German and Japanese Historical
Investigations of Medical War-crimes in the Post-war Era

かつての悲惨な戦争を象徴する日本の「731部隊」、ドイツの「アウシュビッツ強制収容所」等。
戦後、日本とドイツは、人命を守るべき医師・医学者の「戦争医学犯罪」などの実態をどのように検証し、その後の医学教育や医の倫理に活かしてきたのか、その教訓と課題を明らかにします。
それは、現代の先端医学が人間の尊厳に抵触する危険性も含むだけに、今日的な問題であり国民一人ひとりに関わる課題となっているからです。

日時 2012年11月17日(土)午後3時～6時

会場 京都大学 百周年時計台記念館 百周年記念ホール
京都市左京区吉田本町(案内図は裏面参照) 電話075-753-2285

パネリスト

ドイツ **Till Bastian** 医師、作家、平和活動家、郡会議員。
著書「恐ろしい医師たち—ナチ時代の医師の犯罪」など



日本 **刈田 啓史郎** 医学者、15年戦争と日本の医学医療
研究会幹事長、元東北大学教授



座長 **小島 荘明** 東京大学名誉教授

川嶋 みどり 日本赤十字看護大学名誉教授

参加費
無料

どなたでも参加
いただけます

パネル展示「戦争と医の倫理」
も開催(裏面参照)

主催・連絡先

「戦争と医の倫理」の検証を進める会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5(新宿農協会館5階)
全国保険医団体連合会 内

TEL 03-3375-5121 FAX 03-3375-1862

URL <http://AVIC.doc-net.or.jp>

(展示・共催 明治大学平和教育登戸研究所資料館)



日本の医学者・医師の「15年戦争」への加担と責任

展示期間

【代表パネル展示】

■ 9月12日(水)～11月5日(月)

【代表パネル展示】

■ 9月14日(金)～10月8日(月・祝)

【代表パネル展示】

■ 10月13日(土)～10月14日(日)

【全パネル展示】

■ 11月16日(金)～11月21日(水)

明治大学平和教育登戸研究所資料館 (無料・休館日あり)

立命館大学国際平和ミュージアム (有料・休館日あり)

東京・都市センターホテル (保団連医療研究集会・無料)

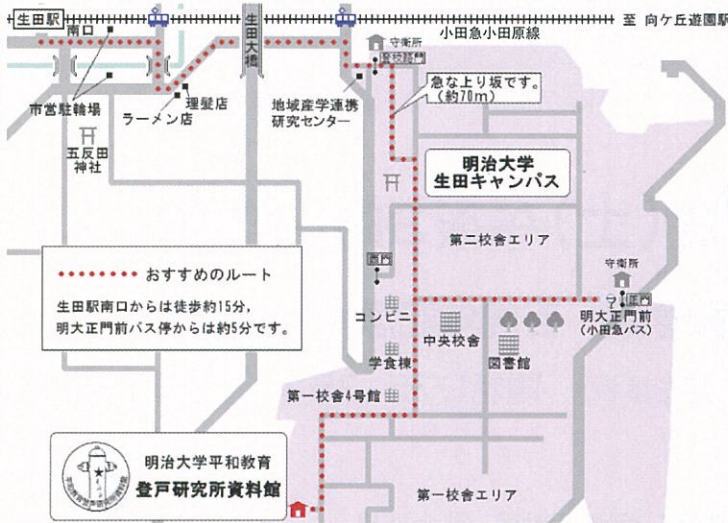
京都大学国際交流ホール (無料)

国際シンポジウム・パネル展示会場 案内図

●明治大学平和教育登戸研究所資料館 (明治大学生田キャンパス)

小田急線「生田駅」南口より徒歩 15 分

小田急線「向ヶ丘遊園駅」北口から小田急バス「明大正門前」行
終点下車



●立命館大学国際平和ミュージアム

JR・近鉄京都駅より市バス 50、JR バス/JR・地下鉄二条駅より市バス 15・55 / 地下鉄北大路駅より市バス 204・205 / 京阪電車三条駅より市バス 15・59 / 阪急電車烏丸駅より市バス 51・55 / 阪急電車西院駅より市バス 205 / 地下鉄西大路御池駅より市バス 205 / JR 円町駅より市バス 15・204・205



●東京・都市センターホテル

地下鉄有楽町線「麹町駅」より徒歩4分/地下鉄有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」より徒歩3分/地下鉄丸ノ内線「赤坂見附駅」より徒歩8分



●京都大学国際交流ホール (京都大学吉田キャンパス)

京都駅(JR・近鉄)より市バス 206・17 / 阪急河原町駅より市バス 201・31・3・17 / 地下鉄丸丸線今出川駅より市バス 201・203 / 地下鉄東西線東山駅東山三条駅より市バス 206・201・31 「京大正門」下車。京阪鴨東線出町柳駅徒歩20分

